

て複雑で、このような統語的な観点からの分析の困難さを示している（八木 1990 参照）。wh 節で表わされた概念が名詞として概念化されたと考えれば容易に理解できる。

in that という成句も、the fact that もそれぞれ that 節によって概念を名詞に範疇化していると考えることができる。

(49) This research is important *in that* it confirms the existence of a relationship between aggression and the use of alcohol.

[CIDE]

(50) Judging from *the fact* that John is a billionaire. . . .

[CIDE]

4 融合 (Merging)

融合という用語は、Quirk *et al.* (pp. 1115ff.) で関係詞の *as* と接続詞の *as* とがしばしば融合する (merge) と述べていることに由来する。また、八木 (1996: 147ff.) で、important to/for という本来は全く違った意味を表す前置詞が区別なく使われる現象をさして融合すると述べている。だが、いずれにしても、言語学上の用語としては明確な意味をもって使われたものではなく、一般的な日常語の域を出ていない。ここでは、冒頭に述べたような意味で言語現象を説明するための用語として導入する。

融合は、(i) 本来は別々の統語機能を果たす同じあるいは類似の語彙項目 (lexical item) が、同じような意味を表すようになり、それぞれの区別がつきにくくなった場合 (統語機能の融合)、(ii) 別々の意味を表す項目がひとつの統語形式によって表現される場合 (複数の意味のひとつの統語構造への融合)、(iii) 意味の反映としての統語特徴と語の本来的な統語特徴がまざりあった場合の 3 つのケースがある。

意味と統語特徴との関係において、意味は無限であるのに対して、統語構造の数は限られている。言い換えれば、限られた統語構造で無限の意味を表現しなければならぬというのは言語の宿命である。従って、意味の違いは統語特徴の違いに反映されるという場合でも、すべての意味がすべて別々のものとして認識できるような統語的な特徴として現れることはない。複数の違った意味が

ひとつの統語構造で表現される、つまり融合するのである。統語形式を中心にみる立場では、形式 (form) が曖昧性をもつということになる。これが (iii) のケースである。

また、ある語彙項目が、類語がとることのできるある特定の統語構造をとることができない場合、それが意味の反映である場合と、別な統語的な理由の反映である場合がある。これは、意味と統語特徴が、それぞれ独立してある統語構造をとることを拒否するという共通の現象として現れることを意味する。すなわち、意味の特徴と統語的な特徴が、ある共通の統語構造を拒否するという、一種の融合現象として現れていることになる。

4.1 統語機能の融合

4.1.1 前置詞の to と不定詞標識の to の融合

八木 (1996: 77ff.) によれば、一般的に look forward to/be accustomed to は動詞をとり、incentive to は名詞をとるとされるが、これらは必ずしもどちらかではなく、どちらもとることが確認されている。

(51) a. We are looking forward *to see* you.

b. We are looking forward *to seeing* you.

のような 2 つの形式が並行して行われているということである。look forward to do の実例をあげる。

(52) . . . , so we look forward to see what they say.

["Doing a Good Job," interviewer Stuart Atkin, 『時事英語研究』1月号, 1994]

OED2 の検索では、19世紀の古い英語にもこの例が見られる。

(53) I *look Forward to be* one day of the decemvirs. [OED2, s. v. decemvir (1821)]

次に be accustomed to do の例をあげる。

(54) We are *accustomed to take* tea on the terrace. [Quirk *et al.* 1985 : 1229]

(55) As speakers we are not *accustomed to describe* them (=parts of speech) and we find it difficult to know exactly what they are. [C. C. Fries, *The Structure of English* (1952)]

(56) . . . the rich and privileged country over which he has been *accustomed to rule* since